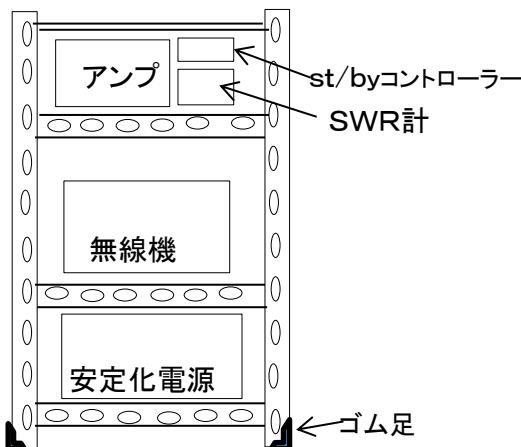


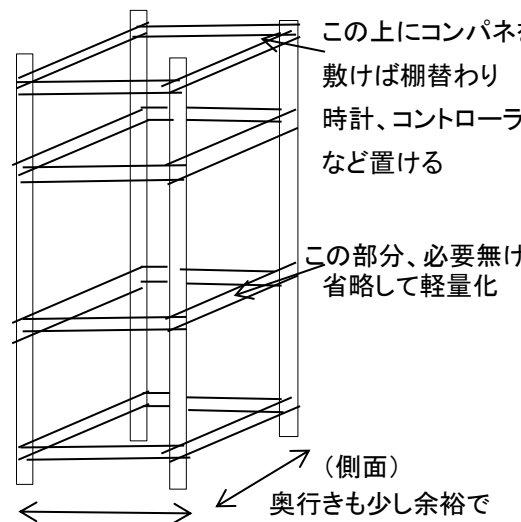
これから移動運用される局のための設備とは ①

430MHz、移動シーズンが来ました。今シーズンから移動運用でもして見るかなと言う局の為の移動設備についてお話して見ようと思います。移動に出掛ける車に常時無線機が取り付け有るなら問題は無いのですが、無線機やその周辺設備ですが、予備機として無いのなら、固定に有る無線機を移動の度に、車に積み替えるって非常に面倒だと思います。無線機に繋がって居るケーブル類を一旦外して周辺機器のケーブル類も又バラして、なんて手間もかかるし、移動先に着いてから、バラしたケーブル類を、無線機や周辺機器に繋ぐのは、「エっ、この線何処に繋げば良かったのかな？」なんて事に成り兼ねません。では、固定で使ってる無線機類を、ラックに組み込んで見ては如何ですか？すべてをラックに組んで置けば、そのラックを積み替えれば楽ですネ。周辺機器の忘れ物が無く成りますよ、移動が終って帰って来たらそのラックのまま固定に持ち込んで、固定で使えば、案外整理した気分転換で運用出来ます。ラックの組み立ては、スチール棚の穴あきアングルを使います。これは、DIY店で機材のバラ売りが有り、組み立てに必要な穴あきのアングルと組み立てボルト、ゴム足を買って来て、アングルは必要な長さで切断します。大抵は1本有れば、間に合うでしょう。例えば図の様な組み方です。組み立てのボルトは頭が平たく丸いので、出っ張りが無く、邪魔

に成りません。



棚板はコンパネを使い、足元はゴムキャップをします。それぞれ機器の奥行きは少し余裕を持っておきます。裏側で電源線、ケーブル類の配線はすべて終らせておけば、SWR計のアンテナ側に、アンテナからの同軸を繋ぐだけで済みます。電源をバッテリーから引き出すので有れば、バッテリーから太めの線で引き出して於いて、接続用のコネクターを付けて置けば、そこから電源をコネクターで接続すれば、使える事が出来ます。発電機を使用するなら安定化電源器のACコードはタイラップなどでラックに止めて置きます。



ラック内のプリアンプst/byコントローラーからのプリアンプへの出力電源は+線が1本だけなので、線端には、接続できる、ギボシ端子を付けて、於けば良いでしょう。これで無線機周辺周りのセットが出来ました。

後は、アンテナ周りの機材ですが次のVer-74、②で、改めて説明しましょう。

無線機の幅に少し余裕 (正面)